

# 埼玉経済

## 定額シロアリ駆除に関心

日本リメイク(さいたま市北区)が3月から始めたシロアリ駆除を一律15万円(税別)で施工する企画が関心を集めている。駆除に加え防蟻と防カビを同時施工する内容で、業界の不明瞭な価格や作業工程を明確化したいと始めた。一般的な市場価格は約40万円程度だが、従来から見積もり提出などを省き一律制を実現。福利厚生で提携する企業の従業員や配布したチラシを見て問い合わせをしてくる世帯が伸長している。鈴木俊雄社長は「提携先や施工する人材を増やしなから対応地域の拡大を進めたい」と意欲を示す。(小林哲伸)

### 日本リメイク(北区)

### 一律15万円 作業明確化

同社が駆除で使う薬剤は大破れ効力を発揮するという。手化学メーカーが開発した有効成分がクロチアニジンのマイクロカプセル剤。日常的に摂取する食塩やカフェインよりも毒性値が低い。シロアリがかじった際の接触したりすると、マイクロカプセルの膜が

混せても化学反応を起こさないという。作業は公益社団法人日本しろあり対策協会(東京都)に登録のシロアリ防除施工士が行う。5年間の保証と、万が一のための賠償責任保険にも入っている。

従来のシロアリ駆除は、駆除と防カビ防蟻対策などで一坪2万円程度が相場。一般的な個人住宅では施工面積が平均20坪程度が多く、発注するとなすとも40万円以上になることが少なくない。

価格を抑え一律化できたのは、問い合わせから施工までに必要な業務を省いたからだ。一般的なシロアリ駆除は問い合わせ後に、現地調査、見積もり提出、契約、施工などで最低4〜5回は現地訪問するケースが多い。

一方、同社は施工面積が20坪程度の想定で料金を設定。現場確認できれば契約の上で施工でき、訪問回数が最大2

回で済む。回数が減った分を価格抑制に生かした。

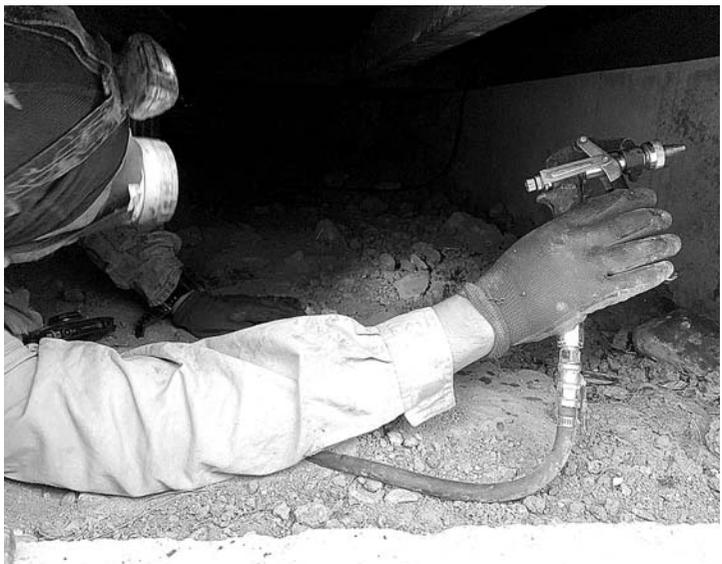
人件費を省けるのも要因。同社でも受注している一般的なシロアリ駆除では、営業担当と施工者ら5人程度が必要という。しかし一律料金では現場調査して即施工も可能なため、現地に必要な人材は施工兼営業の2人程度で済む。

定額駆除を開始後、内容や金額などが好感され受注件数は増加した。駆除プランと定額を評価して福利厚生で導入

する企業が増えたほか、県内全域にドラッグストアを展開するセキ薬品(宮代町)と提携して5月から店内でチラシ配布を始めた点などが背景にあるという。

具体的には3〜9月の同社全体のシロアリ駆除の契約件数は、前年同期より1割増加したという。「注文者の多くが他社でも見積もりを取っていて、ほとんどが現地調査すると、すぐに契約と施工となる」(鈴木社長)と話す。

現状では県内での展開に留まっているが、今後は施工する人材の確保に努め、来春をめどに関東一円でのサービス提供を目指す。



シロアリ駆除作業に当たる日本リメイクの従業員(同社提供)